



自己判断はあぶないね…



それってただの下痢？

炎症性腸疾患は、下痢・腹痛・肛門痛などよくある痔や胃腸炎と症状が似ているために、発病が見過ごされがちです。「なんだか最近おなかの調子が…」「痔の調子が…」という方は、ただのおしりの痛みや下痢、腹痛とタカをくくらないでくださ

い。これらの症状はまだ初期段階であまり深刻に考えていないかもしれませんが、サインは出ているわけです。サインは早い段階で見逃さないようにしましょう。自分で判断しないで早目の受診をおすすめします。

- 下痢が続く
- おしりが痛い

本当はIBDの病気かもしれない

IBDって何ですか？

IBDとは炎症性腸疾患 (Inflammatory Bowel Disease) のことで、一般的には潰瘍性大腸炎とクローン病のことをさしており、厚生労働省より特定疾患の難病に指定されています。

▶ 潰瘍性大腸炎とは
 大腸の粘膜に炎症が生じ、潰瘍やびらん(ただれた状態)ができ、下痢や粘血便がおこります。主な症状は、腹痛、下痢、血便、粘血便、発熱です。症状がほとんどない緩解期と、悪くなる活動期・再燃期を繰り返す慢性の病気です。

▶ クローン病とは
 口から肛門までの消化管に、縦長あるいは不整形の深い潰瘍を作り、炎症をおこしたり消化管が狭くなったりする、慢性の病気です。主な症状は、腹痛、下痢、発熱、栄養不良、肛門病変(痔ろうや裂肛)があります。



気になる症状がありましたら、早めの受診をおすすめいたします。

